

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院呼吸器センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自分やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

調査対象となる期間： 2009年1月1日 ～ 2013年12月31日の間に、上葉優位型肺線維症のために虎の門病院呼吸器センター内科に入院・通院し、治療を受けられた方

### 【研究課題名】

特発性上葉優位型肺線維症に閉塞性細気管支炎を合併し、急性増悪を来した症例の検討

### 【研究の目的・背景】

特発性上葉優位型肺線維症は頻度の稀な疾患です。病理学的にその成因は不明な点が多く、本研究では閉塞性細気管支炎が病理学的に同定され、かつ臨床的に急性増悪を来した方を対象に、その臨床的特徴を検討します。

### 【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2018年5月25日 ～ 2020年3月31日

### 【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 呼吸器センター内科/医員宮本篤のもと研究終了後 5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

### 【利用する診療情報】

診療情報：検査データ、診療記録、画像データ、CT データ、看護記録、薬歴。

**【研究代表者】**

虎の門病院 呼吸器センター内科 岸 一馬

**【虎の門病院における研究責任者】**

呼吸器センター内科 岸 一馬

**【研究の方法等に関する資料の閲覧について】**

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

**【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】**

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2018年6月4日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様へ不利益が生じることはありません。

**【相談窓口】**

虎の門病院 呼吸器センター内科 宮本篤

電話 03-3588-1111(代表)